

## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部農林水産局 農村環境課	記入責任者職氏名  (担当者氏名)	課長 青野 正  (小川 至紀)	内線	3931  (3946)
------	---------------------	-------------------------	------------------------	----	--------------------

事業種目	中山間地域振興対策	事業名 新山村振興等農林漁業特別対策事業	事業区間 山南地区	総事業費 内用地補償費	約3億円 —						
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度						
山南町全域			H15	H15	H17						
事業の目的			事業内容								
<p>中山間地域の特性を踏まえつつ、地域農業の振興や都市との交流、定住条件の整備を総合的に振興することにより、活力ある地域づくりを推進する。特に本地区は、シカ・イノシシによる農作物への被害が増加しており、今後の農業振興や都市との交流、営農意欲の向上のため、被害防止の対策が急がれる。</p> <p style="text-align: center;">事業主体：山南町</p>			<p>獣害防止柵 L=83km (国55% 県6% 町19% 地元20%)</p>								
評価視点	評価結果の説明										
(1)必要性	<p>山南町は、古くから獣害に悩まされていたが、近年、シカの頭数増加により、農作物への被害が深刻となってきた。各集落は、それぞれトタン柵等にて自衛してきたが、高齢化・担い手不足等により、農地管理や柵の維持管理への労力がますます困難となってきた。そのため、耕作放棄地の問題も生じてきており、転作を活かした特産作物栽培へも影響を与えている。</p> <p>また、本町は、「薬草薬樹公園」を核とした漢方の里づくりに取り組み、都市との交流を積極的に推進しているが、今後とも交流を活発化させるためには、地域特産物の付加価値化を図るための新商品の開発・試験等を推進する必要があり、農家が安心して農作物が栽培できる環境整備が必要である。</p> <p>そのため、町として獣害に対し早急に対応する措置として、防止柵で全町を囲い込む方針を立て実施することは必要であり、支援する必要がある。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center;">整備必要量</td> <td style="text-align: center;">施行済(自治振)</td> <td style="text-align: center;">今回整備予定</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">101km</td> <td style="text-align: center;">18km</td> <td style="text-align: center;">83km</td> </tr> </table>					整備必要量	施行済(自治振)	今回整備予定	101km	18km	83km
整備必要量	施行済(自治振)	今回整備予定									
101km	18km	83km									
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施により下記の効果が期待できる。                営農意欲の増大による地域の活力向上。      農地の有効利用による耕作放棄地の減少。</li> <li>・投資効率 1.26</li> <li>・用地等地域の協力体制も整っている。</li> </ul>										
(3)環境適合性	<p>野生生物の生息地を守り、共生を図るとともに、景観にも配慮しながら設置する。</p>										
(4)優先性	<p>近年、本町における農作物への被害が増加しており、特にシカによる被害額の増加が著しい。(H13年度被害額は、H12年度の2倍)              そのため、早急な対策が望まれ、H15年度からの実施が必要である。</p>										